

平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		議員人件費				
基本事項	予算科目	11-1-1-1(1-1-1)		所 属	議会事務局	
	部 局 長	議会事務局長 沖野 悌二		所 属 長	議会事務局長 沖野 悌二	
	担 当 者	係長 竹谷 孝		連 絡 先	(076)283-7126 (内線71-322)	
	基本方針	7. 行政運営		主要施策	2. 行政運営の効率化と市民参画の推進	
	義務的事業	地方自治法第89条、第91条、第203条		定型的事業		
事業の概要	目的	<p>地方自治法の「普通地方公共団体は、その議会の議員、...(割愛)...、に対し、議員報酬を支給しなければならない。」並びにかほく市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例により定められた基準に従って支給している。</p> <p>「かほく市議会議員」に対して、「議員報酬・手当等を支給する」ことで、「市民を代表しての市政に対する監視、行政課題に対する審議、助言をすることにより、議会の活性化並びに市政の発展へつなげる」ことを目的とする。</p>				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		定例会	議員	3,6,9,12月に開会される定例会本会議に出席し、執行部から提出される議案について審議、採決する。		
		臨時会	議員	臨時に開会される臨時会本会議に出席し、執行部から提出される議案について審議、採決する。		
		常任委員会	議員	議員は必ずいずれかの常任委員会に所属し、その常任委員会が所管する案件について審議、採決する。		
特別委員会	議員	必要がある場合において議会の議決で置かれた特別委員会委員として、案件について審議、採決する。				
費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	113,105	113,105	3,619	3,262	116,724	116,367
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	75	<p>議員に議員報酬・手当等を支給することにより、議員活動に対する支援をし、市民のニーズ等を集約し、集約したものを自分なりに整理し議会等で発言することにより市政への理解、発展へ結びつける。</p>				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
		一般質問者率		25.0	%	0.0
		指標の内容		実績の分析		
<p>本会議における議員の一般質問者数によって、市民の市政参加に対する意識を量る。</p>						
指標の算式						
		{ 1年間の一般質問者の累計 / (18人 * 4回) } * 100				
総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等		
	目標評価点	0.64				

平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		議会運営費				
基本事項	予算科目	11-1-1-1(1-3-1)		所 属	議会事務局	
	部 局 長	議会事務局長 沖野 悌二		所 属 長	議会事務局長 沖野 悌二	
	担 当 者	係長 竹谷 孝		連 絡 先	(076)283-7126 (内線71-322)	
	基本方針	7. 行政運営		主要施策	2. 行政運営の効率化と市民参画の推進	
	義務的事業	地方自治法第100条第13項		定型的事業		
事業の概要	目的	議長の出張にかかる費用弁償、議長車の維持管理費、各種議長会の負担金、政務調査費、会議録の筆耕翻訳料、議会運営にかかる費用などを執行し、円滑な議会運営に努めている。 「かほく市議会の本会議、委員会等」に対して、「議長の執務を補助し、議員に政務調査費を支給し、議事録を調整し、その他議会運営庶務を実施する」ことによって、「円滑な議会運営を補助する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		議長関係経費	議長	議長の出張旅費、議長車の維持管理費、議長会の負担金に係る経費を執行している。		
		政務調査費	議員	議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議会における議員に対し、政務調査費を交付している。		
		筆耕翻訳料	議員	議会運営委員会、3常任委員会、全員協議会、議員協議会の会議録を全文筆記している		
議会事務費	議員	議会庁舎に設置しているコピー機や事務用品、議会図書室の充実を図るための経費を執行している。				
費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	9,138	9,138	15,480	13,955	24,618	23,093
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	75	議員に政務調査費を交付することにより、議員としての資質を向上させ、各種議長会に負担金を納めることにより、他市議会と良好な関係を保ちつつ、情報交換ができ、ひいては議会の活性化につながり、これが市政の発展に寄与するものである。				
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率	
		一般質問者率	25.0	%	%	0.0
		指標の内容	実績の分析			
指標の算式		本会議における議員の一般質問の数によって、市民の市政参加に対する意識を量る。 $\{ \text{1年間の一般質問者の累計} / (18人 * 4回) \} * 100$				
総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等		
	目標評価点	3.25				

平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		議会広報事業			
基本事項	予算科目	11-1-1-1(1-4-1)		所 属	議会事務局
	部 局 長	議会事務局長 沖野 悌二		所 属 長	議会事務局長 沖野 悌二
	担 当 者	係長 竹谷 孝		連 絡 先	(076)283-7126 (内線71-322)
	基本方針	7. 行政運営		主要施策	2. 行政運営の効率化と市民参画の推進
	義務的事業			定型的事業	
事業の概要	目的	市行政に対する議会の諸般の事項を市民に周知するとともに、市民の建設的な要望意見を聴取し、市政に反映させ、本市自治の高揚を図るため、かほく市議会広報を発行し、市内全世帯に配付している。「市民」に対して、「議会だよりを配付するなど議会活動を広報する」ことで、「市民の市政参加への意識の高揚を図る」ことを目的とする。			
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容	
		議会だよりの発行	市民	現在11,500部印刷し、全世帯に配付している。	
		広報特別委員会の開催	委員及び議長	定例会毎に5回開催し、議会だよりの作成、編集をしている	
	費用	事業費		管理費	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円
	1,937	1,937	7,204	6,495	9,141
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け			
	75	市内全世帯に議会だよりを配付することによって、現在の議会活動の状況を周知することができ、市政への市民参加が期待できる。 市民が市政に積極的に参画することは、地方自治における住民自治を実現するための基本的事項である。			
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率
		議会・委員会傍聴者率	22.0	%	0.0
		指標の内容	実績の分析		
	平成19年6月から議会本会議に加え、各常任委員会も市民に公開することとした。1年間に、市議会の本会議、各常任委員会を傍聴した市民の人数によって、市民の市政参加に対する意識を量る。				
	指標の算式 $\{ \text{1年間の傍聴者の累計} / (30人 * 3回 * 4回 + 8人 * 3委員会 * 4回) \} * 100$				
総合評価	評価点	方向性	改善計画等		
	0.00				
	目標評価点				
	8.89				

平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		議員研修事業					
基本事項	予算科目	11-1-1-1(1-5-1)		所属	議会事務局		
	部局長	議会事務局長 沖野 悌二		所属長	議会事務局長 沖野 悌二		
	担当者	係長 竹谷 孝		連絡先	(076)283-7126 (内線71-322)		
	基本方針	7. 行政運営		主要施策	2. 行政運営の効率化と市民参画の推進		
	義務的事業	地方自治法第100条第12項		定型的事業			
事業の概要	目的	<p>議員に対して、「先進地等の視察研修を実施することによって、議員としての見識を深め、審議能力を向上させ、ひいてはかほく市政の進展、市政の課題解決に寄与する」ことを目的とする。</p> <p>これまで各委員会とも1泊2日の日程で2箇所の視察を実施してきており、移動は借上げた中型バスで行ってきた。また視察研修には議会事務局職員1名が随行しており、執行部からの参加も呼びかけているが予算的な関係により実現には至っていない。視察研修の結果は、直近の定例会本会議により各委員長より報告し、当報告は議会だよりにも掲載、CATVでも番組編集し模様を放送し市民への周知もはかっている。</p>					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		議会運営委員会	委員6名と議長	従前同様の予算措置(バス借上)により実施予定。			
		総務常任委員会	委員6名	70,000円/人の予算措置により遠隔地への視察研修を可能とする。			
		市民文教常任委員会	委員6名	70,000円/人の予算措置により遠隔地への視察研修を可能とする。			
費用	事業費	管理費		総費用			
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	1,777	1,777	7,204	6,495	8,981	8,272	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	75	<p>先進地、先進的事例を視察研修することで、議員として見識を深め、審議能力を高めることで議会が活性化するとともに、議員が視察研修により得られた知識に基づき市に対し意見、助言をすることで「行政運営の効率化と市民参画の推進」が図られる。</p>				
	成果・実績	指 標	目 標 値		実 績 値	達 成 率	
		一般質問者率	25.0 %			0.0 %	
		指標の内容	実績の分析				
指標の算式		<p>本会議における議員の一般質問の数によって、市民の市政参加に対する意識を量る。</p> <p>{1年間の一般質問者の累計 / (18人 * 4回)} * 100</p>					
総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等			
	目標評価点	9.07					